



119情報

区連会1月定例会
令和8年1月21日
都筑消防署

■ 区内の火災状況

都筑消防署

区分 / 年別		令和7年		令和6年		累計前年比 増△減
		12月	累計	12月	累計	
火災件数 (件)		6	40	2	18	22
火災種別	建物火災 (件)	2	19	0	12	7
	車両火災 (件)	0	7	0	3	4
	その他の火災 (件)	4	14	2	3	11
焼損面積 (㎡)		10	669	0	260	409
死者 (人)		0	0	0	0	0

【12月中6件】 10日 茅ヶ崎東二丁目 その他火災 10日 茅ヶ崎中央 建物火災
13日 茅ヶ崎東二丁目 その他火災 16日 茅ヶ崎東二丁目 その他火災
19日 勝田南一丁目 その他火災 23日 折本町 建物火災

■ 区内の救急状況

救急車を呼ぶか迷ったら #7119



区分 / 年別		令和7年		令和6年		累計前年比 増△減
		12月	累計	12月	累計	
救急件数 (件)		906	10,580	1,072	10,984	△ 404
救急種別	急病 (件)	631	7,408	779	7,716	△ 308
	交通事故 (件)	40	515	71	580	△ 65
	一般負傷 (件)	179	2,000	167	1,991	9
	その他 (件)	56	657	55	697	△ 40

※ 数値は速報値のため、変更になる場合があります。

リチウムイオン電池 取扱いに注意！

使用時の注意

- ☐ 強い衝撃、圧力を加えたり高温の環境に放置しない。
- ☐ 膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがするなど、異常を感じたら使用を中止する。

※横浜市ではリチウムイオン電池の分別収集を開始しています。
詳しくはこちらのHPまで →



住宅用火災警報器は10年を目安に

点検 交換 をしましょう!!

詳しい点検方法やご案内は
都筑消防署
までお問合せください

☎045-945-0119

都筑消防署・都筑消防団・都筑火災予防協会

ヒートショック

をご存じですか？

ヒートショックとは…

急激な温度変化による血圧の変動により、

脳卒中や**心筋梗塞**を引き起こす健康被害のことです。



対策…

- ☐ 体調がすぐれない時は入浴を控える。
- ☐ 脱衣所に**暖房**を入れる。
- ☐ 入浴の時は**水分**をとる。
- ☐ 温度は**41度以下**、浸かるのは**10分以内**。
- ☐ 入浴の時は**かけ湯**をしてから入る。



【お問合せ先】 都筑消防署 総務・予防課予防係
TEL:045-945-0119

GREEN×EXPO 2027 市出展施設ユニフォーム制作に向けた 衣類回収に関する広報チラシの掲示について【掲示依頼】

1 事業の趣旨

市民の皆様のさらなる脱炭素行動に繋げる「衣類分野の横浜型循環型社会の形成」を目指し、協働事業者とともに取組を進めています。

今回、市民の皆様から不要となった衣類を回収し、その衣類を原料として GREEN×EXPO 2027 の横浜市出展施設のスタッフユニフォームに再生する取組を開始しました。

つきましては、取組実施について、引き続き御理解・御協力いただくとともに、自治会町内会掲示板でのチラシ掲出による広報協力をお願い致します。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位自治会町内会あて掲示物を送付します。

自治会町内会の掲示板への掲出をお願いします。

3 衣類回収の概要

回収拠点にオリジナル回収ボックスを設置し、衣類を回収します。

ただし、一部民間施設では、施設独自で取り組んでいる既存の衣類回収ボックスを活用します。

・回収期間 3月31日（火）まで

・回収対象 洗濯してあり、乾いている衣類（T シャツ・シャツ・ボトムなど）でポリエステル100%、綿100%素材のもの

※その他の素材（混紡素材）の衣類が回収された場合は、リユース・リサイクル等適切に活用予定です。

・回収拠点 各区区庁舎・市庁舎・市立図書館・民間施設等（詳細は別紙参照）

4 チラシについて

・添付のチラシ（A4 サイズ）を各自治会町内会掲示板で掲出をお願い致します。

・お手数ですが、回収期限（3月31日）まで掲示をお願いします。

・チラシが劣化した場合等には、新しいチラシをお渡しすることも可能ですので、その際は、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素ライフスタイル推進課（TEL045-671-2661）宛てに御相談ください。

衣類回収拠点一覧

<別紙>

No	拠点名	区名	所在地
1	各区庁舎	-	-
2	市庁舎	中区	本町6-50-10
3	市立図書館	-	-
4	無印良品 港南台パース	港南区	港南台3-1-3 B1F
5	無印良品 C o l e t t e ・ M a r e みなとみらい	中区	桜木町1-1-7 4 F
6	無印良品 N E W o M a n Y O K O H A M A	西区	南幸1-1-1 7 F
7	無印良品 フォルテ横浜川和	都筑区	和町3030 2 F
8	無印良品 5 0 0 星天 q l a y	保土ケ谷	星川一丁目1-1 2 F
9	無印良品 イオン金沢八景	金沢区	泥亀1-27-1 1 F
10	無印良品 ゆめが丘ソラトス	泉区	ゆめが丘31
11	無印良品 青葉台東急スクエア	青葉区	青葉台2-1-1 South- 1 本館 3 F
12	するーぷ ランドマークタワー2階	西区	みなとみらい2-2-1
13	するーぷ クイーンズA棟 1F	西区	みなとみらい2-3-1
14	するーぷ MARK IS みなとみらい	西区	みなとみらい3丁目5-1
15	するーぷ chilink	西区	みなとみらい5丁目1-2 横浜シンフォステージ イーストタワー 3 F
16	するーぷ 京急ミュージアム	西区	高島1-2-8 京急グループ本社1F
17	するーぷ ゆめが丘ソラトス 1F	泉区	ゆめが丘31
18	するーぷ 相鉄ジョイナス横浜 3 F	西区	南幸1-5-1
19	するーぷ ジョイナステラス二俣川 3 F	旭区	二俣川2-50-14
20	横浜国立大学 キャンパス	保土ケ谷	常盤台79-5
21	明治学院大学 横浜キャンパス	戸塚区	上倉田町1518
22	AOKI 横浜港北総本店	都筑区	葛が谷6-56
23	AOKI 横浜すみれが丘店	都筑区	牛久保1-19-5
24	AOKI 横浜鶴見西口店	鶴見区	豊岡町16-2
25	AOKI 横浜片倉町店	神奈川区	片倉3-1-8
26	AOKI 横浜みなとみらい店	西区	みなとみらい4-5-1
27	AOKI 横浜弘明寺店	南区	六ツ川1-190-5
28	AOKI 横浜金沢文庫店	金沢区	釜利谷東2-5-5
29	AOKI 横浜大倉山店	港北区	大豆戸町80
30	AOKI 横浜綱島東店	港北区	綱島東2-6-61
31	AOKI 横浜港南台店	港南区	港南台6-12-2
32	AOKI 横浜日野店	港南区	日野中央1-17-12
33	AOKI 横浜鶴ヶ峰店	旭区	鶴ヶ峰本町2-44-2
34	AOKI 横浜三ツ境店	瀬谷区	二ツ橋町163
35	AOKI 横浜緑園都市店	泉区	緑園7-7-3
36	AOKI 横浜山手台店	泉区	領家3-1-1
37	AOKI サイズマックスいずみ中央店	泉区	和泉中央北4-30-1 プレミール中央 1F
38	AOKI 横浜青葉台店	青葉区	青葉台2-8-20

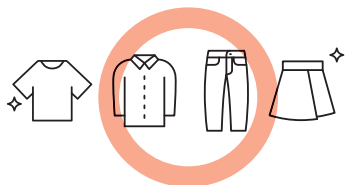
YOKOHAMA CIRCULAR FASHION PROJECT

GREEN×EXPO 2027 ユニフォームをみんなで作ろう！
不要となった衣類を回収しています！

皆様から回収した衣類をリサイクル技術によりGREEN×EXPO 2027の
横浜市出展施設のユニフォーム素材として活用します。

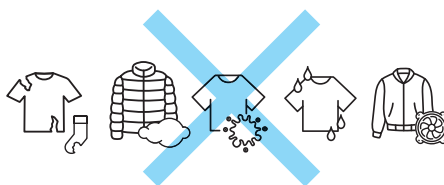
回収できるもの

乾いている衣類
(Tシャツ・シャツ・ボトムなど)で
ポリエステル100%、
綿100%素材のもの



回収できないもの

濡れた服、汚れた服、破れた服、
わたが入っている服、
ファン付作業服



上記の素材以外の衣類についても回収後はリユース・リサイクルに活用します

回収期間

令和7年12月12日(金)～令和8年3月31日(火)予定

回収拠点 (令和7年12月12日時点、随時拡大予定)

市庁舎・区役所・横浜市中央図書館・御協力いただける民間施設・大学ほか

お問い合わせ先

右のフォームより、お問い合わせください。

所管

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素ライフスタイル推進課

回収拠点の
最新情報は
こちらから



お問い合わせは
こちらから



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

横浜デザインセンター・エクスナレッジ・エクスナレッジ

©Expo 2027

GREEN×EXPO 2027 機運醸成の取組について【情報提供】

1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 チケット概要

- ・前売チケット 1日券 大人 4,900 円、小人 1,400 円
- ・会期中販売チケット 1日券 大人 5,500 円、小人 1,500 円

前売チケットは、2026 年 3 月の発売を目指しています。詳細は、2026 年春頃に公表される予定です。

また、2027 年の開催に向けて、GREEN×EXPO 2027 に関する様々な新しい情報について、協会公式 Web サイトや公式 SNS 等で順次発信されます。

※その他の券種と価格については、別添資料参照

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 中島、橋本
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025年12月5日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会) 入場チケットの券種及び価格について



GREEN×EXPO 2027 会場イメージ

このたび政府の了承を受け、GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

前売チケット	1日券	大人4,900円、小人1,400円
会期中販売チケット	1日券	大人5,500円、小人1,500円

前売チケットは、2026年3月の発売を目指しています。詳細は、2026年春頃に公表する予定です。
また、2027年の開催に向けて、GREEN×EXPO 2027に関する様々な新しい情報を協会公式Webサイトや公式SNS等で順次発信して参ります。

入場チケットの券種・価格

- ・会期中いつでも1回入場できる1日券
- ・夜から入場できる夜間券
- ・障がい者手帳をお持ちの方の特別割引券
- ・会期中に何度も入場できる通期パス
- ・夏期間に何度も入場できる夏パス
- ・一般や学校の団体に来場される方のための団体割引券

項 目	券 種	概 要	大 人 (満18歳以上)	中 人 (満12～17歳)	小 人 (満4～11歳)
前売チケット	1日券 (早割価格)	会期中いつでも1回入場可	4,900円	3,000円	1,400円
会期中販売 チケット	1日券 (通常価格)	会期中いつでも1回入場可	5,500円	3,300円	1,500円
	夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,500円	1,900円	900円
前売・会期中 販売 チケット	特別割引券	障がい者手帳等をお持ちの方および同伴者1名が購入可能で、会期中いつでも1人1回入場可	2,800円	1,700円	800円
複数回 入場パス	通期パス	会期中いつでも何度も入場可	28,000円	16,000円	6,500円
	夏パス	夏の決まった期間(7/1～8/31)に何度も入場可	12,000円	7,000円	3,000円
団 体	一般団体割引券	15名以上の一般団体が会期中いつでも1回同時入場可	5,200円	3,100円	1,400円
				高校生	中学生 小学生・園児
	学校団体割引券	学校団体が会期中いつでも1回同時入場可		1,700円	900円

※価格は全て日本円・税込みです。

(紙チケットを購入する場合は、別途100円(税込み)をいただく予定です。)

※3歳以下の方は無料となります。

※前売チケットの販売は2027年3月18日までとなります。

チケット販売開始時期

・2026年3月（予定）

チケット販売方法

・2027年国際園芸博覧会公式チケット販売サイトを通じて販売します。また、旅行代理店や各種プレイガイド等のGREEN×EXPO協会が指定する販売事業者による販売も実施予定です。

本件に関するお問い合わせ先

GREEN×EXPO協会（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会） 機運醸成部 機運醸成課
（担当：太田、中山）

Tel：045-307-2031

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)
開 催 場 所	神奈川県横浜市
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日)
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位) クラス(AIPH承認+BIE認定)
参 加 者 数	1500万人(有料来場者数：1,000万人以上)
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」

「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」の公表と パブリックコメントの実施について【事業説明】

1 趣旨

横浜市では、2026（令和 8）年度から 2029（令和 11）年度までを計画期間とする新たな中期計画の策定を進めています。

2025（令和 7）年 9 月に「新たな中期計画の基本的方向」を公表し、9 月の市連会・区連会で市民意見募集の周知についてご協力をお願いさせていただき、大変多くのご意見をいただくことができました。改めてお礼申し上げます。

これらのご意見等を踏まえ、「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」を策定し、12 月 3 日（水）に公表しました。

この「素案」に対するパブリックコメントを 1 月 5 日（月）から 2 月 27 日（金）まで行います。地域の皆様から多くのご意見をいただきたく、各区連会 1 月定例会で各自治会への周知をお願いしたいと考えております。

パブリックコメントの実施にあたっては、広報よこはま 1 月号への記事掲載や、各区役所 広報相談係などで「素案」の概要版リーフレットの配布などを行っておりますので、あわせてお知らせします。

今後、多くの市民の皆様のご意見を踏まえて、2026（令和 8）年 5 月頃に「原案」を策定します。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 内容

単位会長あてに概要版リーフレットを送付します。詳細は別添をご参照ください。

【概要版リーフレットの掲載内容】

- ・「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」の概要
- ・パブリックコメントの実施

実施期間：令和 8 年 1 月 5 日（月）から令和 8 年 2 月 27 日（金）まで

提出方法：以下の方法でご意見をお寄せください。

- ・横浜市電子申請・届出システム（右の二次元コードより）
- ・電子メール ・郵送 ・FAX



4 参考

新たな中期計画の策定スケジュール（予定）

2025（令和7）年12月3日（水） 素案の策定

広報よこはま
1月号



素案に対するパブリックコメントの実施等
（2026（令和8）年1月5日（月）～2月27日（金））

2026（令和8）年5月頃 原案の策定

策定した原案は議案として提出する予定です。

政策経営局経営戦略課
担当 細谷、二階堂、井上
電話 045-671-3477 /FAX 045-663-4613
メール ss-keieisenryaku@city.yokohama.lg.jp

～未来の横浜を市民の皆様と一緒に作る～

はじめに

横浜市は、2026(令和8)年度から2029(令和11)年度までを計画期間とする新たな中期計画の策定を進めています。このたび、「横浜市中期計画2026～2029(素案)」をとりまとめました。市民目線の市政を基本に、現状の課題解決に取り組みながら、魅力ある横浜の未来を創造していきます。

計画の構成

共にめざす都市像「明日をひらく都市」の実現に向けた戦略



戦略

市民生活の安心・安全 × 横浜の持続的な成長・発展

あらゆる世代・多様な市民の皆様が安心・安全を基本に、自分らしくいきいきと暮らすことのできる「住みたい・住み続けたいまち」を目指します

世界をリードする都市として持続的に成長・発展することで未来に希望を抱くことができる「選ばれるまち」を目指します

総合的な取組

14の政策群と33の施策群

(政策群は、政策分野に関連する取組をまとめた施策群で構成)

横断的な取組

テーマに関連する施策群による横断プロジェクト

横浜の成長・発展に向けた「明日をひらく都市プロジェクト」

政策・財政・行政が連動し、持続可能な市政運営を更に推進し、施策の推進と財政の健全性の維持を両立

市役所の改革






「行政運営の基本方針」






～ リ・デザイン(市民サービス革新、地域支援の進化、行政事務・組織改革) ～

市政運営の土台

「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」

～ 「横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例」に基づく基本方針とアクション ～

政策群	目指す姿	施策群
1 毎日の 安心・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯対策の強化が進み、地域防犯力が向上し、犯罪が発生しにくい、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。 ●交通安全対策が進み、こどもから大人まで安心して出かけられる環境が整っています。 ●計画的かつ効果的な老朽化対策・保全更新が進み、市民生活に欠かせないインフラ施設を誰もが安心して利用できる環境が整っています。 	施策群 1 防犯、歩行者の安心・安全 施策群 2 インフラ施設の安全確保
2 防災・減災 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震防災戦略に基づき、自助・共助・公助の取組が一体的に進み、大規模地震に対して十分な備えができています。 ●風水害のリスクに対し、ハード・ソフト両面の対策が進み、市民の命と財産を守る十分な備えができています。 	施策群 3 地震防災対策 施策群 4 風水害対策
3 医療・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた資源を最大限活用し、最適な医療提供体制を構築することで、こどもから高齢者まで誰もが適切な医療を受けられ、本人・家族が安心して生活することができています。 ●各種がん検診の受診者数の増加により、早期発見・早期治療を進め、がんと診断された方が、適切な医療を受け、安心して生活できる環境が実現しています。 ●増加が見込まれる救急需要に対し、安定的な救急体制が確保できています。 ●市民の生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりを通じて、市民の皆様が健やかな生活を送ることができています。 	施策群 5 医療・救急・保健
4 こども・ 子育て 	<ul style="list-style-type: none"> ●全てのこどもを社会全体で支えることで、未来を創るこども一人ひとりが自分の良さや可能性を発揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会を創り出していく力が育まれています。 ●こどもたちが、様々な遊びや学び、体験機会に接することで、自己肯定感を高められる環境が整っています。 ●誰もが安心して出産・子育てができ、気持ちに余裕をもってこどもに向き合うことができています。 	施策群 6 子育て支援 施策群 7 保育・幼児教育 施策群 8 こどもの体験機会 づくりと居場所の充実 施策群 9 困難な状況にある こども・家庭への支援
5 教育 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校全員給食を通じた食育の推進や学校施設の老朽化対策・快適性の向上など、誰もが安心して学べる環境を整えることで、より良い教育環境につながっています。 ●グローバルに活躍する児童生徒の育成に向けた、プログラムの充実・支援の仕組みが整っており、こどもたちの能力や意欲向上につながっています。 ●ICT活用指導力をはじめ、教職員自らが学び続ける姿勢で臨み、指導力が向上されることで、児童生徒の成長が図られています。 	施策群 10 教育環境の整備 (ソフト・ハード) 施策群 11 安心して生活できる 学びの環境づくり 施策群 12 学力の向上 施策群 13 教職員

政策群	目指す姿	施策群
6 高齢・長寿 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の活躍・社会参画の機会が充実し、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、つながり・支えあう地域づくりを進めます。 ● 見守りの取組や地域での支え合いを推進し、住み慣れた地域で自らの意思で自分らしく暮らすことができています。 ● 新たな担い手の参入促進、定着支援等を通じた人材確保や、DXを通じた業務改善などの働き方改革により、介護需要に対するサービスを持続的に提供することができています。 ● 必要な施設・住まいの整備や、相談体制の充実を通じて、日常生活に支援や手助けが必要になっても、一人ひとりの状況に応じたサービスの選択が可能となっています。 	施策群14 高齢者支援
7 障害児・者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害児・者やその家族への支援を行うと共に、ソフト・ハードの両面からインクルーシブなまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。 ● DX技術等の活用による体験機会・就労機会の拡充を通じて、自分らしさを発揮し、いきいきと生活ができています。 	施策群15 障害児・者支援
8 暮らし・コミュニティ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域で、共に支え合い、誰もが自分らしく活躍できている暮らしやすいまちが実現しています。 ● 地域コミュニティが主体となって取り組む地域課題（防犯・防災や環境保全、子育て支援など）の解決に向けた活動が継続すると共に、自治会町内会など地域で活動する団体や人々、企業、学校などの多様な主体と連携する「協働による地域づくり」がより一層推進されています。 ● 快適な環境の中で、誰もが一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らしを実感しながら、安心して住み続けることができています。 	施策群16 地域の生活環境 施策群17 学び・交流を支える地域の情報拠点 施策群18 多文化共生 施策群19 困難を抱えた人の支援
9 交通 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市域全体で地域公共交通が充実していると共に、快適に移動できる自転車・歩行者空間と、身近な移動手段が確保され、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちを実現しています。 ● まちづくりと一体となった交通ネットワークの構築や渋滞対策が進むことで、移動の利便性が高まり、市民生活や企業活動が活性化しています。 	施策群20 市民の移動手段の確保
10 にぎわい・スポーツ・文化 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウォーターフロントを生かしたアーバンリゾートの魅力向上により、国内外から観光客を呼び込み、消費の拡大により地域経済が活性化され、活力・魅力のあるまちとなっています。 ● 年齢や性別、障害の有無、家庭環境等に関わらず、市内の各地域で隔たりなく、誰もが、スポーツや文化活動に参加できる機会や楽しめる環境が充実し、また、それらを通じて共に認め、支えあうコミュニティが実現することで、市民が生活の質の向上を実感できています。 	施策群21 観光・MICE 施策群22 スポーツ 施策群23 文化芸術

政策群	目指す姿	施策群
11 産業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 戦略的な企業誘致により、市内への産業や機能の集積が進み、成長分野をはじめとして新たな雇用の創出や事業機会の拡大など、市内経済の持続的発展につながっています。 ● スタートアップの創出・成長・立地により、雇用者数の増加や市内企業との協業が進み、市内経済の活性化につながっています。 ● 中小・小規模事業者の経営基盤が強化されることで、事業継続や雇用維持が実現され、横浜経済の成長や活性化につながっています。 ● グローバルサプライチェーンを支える国際基幹航路を維持・拡大し、横浜港の国際競争力の強化を推進すると共に、企業・物流拠点の立地促進を図り地域の新たな活性化の拠点が形成されています。 	施策群24 経済成長 施策群25 地域産業
12 まちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都心部・臨海部では、世界に誇る水際線をはじめとする魅力が更に磨き上げられると共に、適正な土地利用誘導を通じて、都心臨海部や新横浜都心における業務・商業機能の集積や、京浜臨海部における産業機能の高度化が進み、より多くの人や企業を惹きつけるまちが形成されています。 ● 郊外部では、鉄道駅周辺や住宅地等において、これまで以上に土地のポテンシャルが引き出され、地域の特色や資源を生かした魅力的なまちづくりが進められています。また、上瀬谷地区においては、GREEN×EXPO 2027開催後のまちづくりが進められています。 	施策群26 都心部・臨海部のまちづくり 施策群27 郊外部のまちづくり
13 環境との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な脱炭素関連施策の展開により、市民・企業の環境意識の高まりを通じて脱炭素の取組が推進され、ハーフカーボンの達成が確実なものとなっています。 ● GREEN×EXPO 2027の取組を通じて、ネイチャーベースドソリューションやサーキュラーエコノミーの考え方が浸透し、市民や事業者の皆様の行動変容につながるなど、新たなグリーン社会の実現に向けた具体的な環境行動が広がっています。 ● 横浜らしいサーキュラーエコノミー施策が展開された結果、環境への影響を考慮して行動する市民が増えていると共に、市内産業の発展・育成につながっています。また、アジアを代表するグリーンシティとして、世界の環境政策、都市政策を先導しています。 	施策群28 カーボンニュートラル 施策群29 GREEN×EXPO 2027 施策群30 循環型社会に向けた取組
14 みどり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「公園のまちヨコハマ」の推進や動物園のリニューアルによる魅力向上を進めることで、こどもを中心に多様な体験の場が創出されると共に、都市ブランド力の向上につながっています。 ● 身近に農を実感できる機会が増えることにより、市民の皆様のもてなで潤いのある暮らしが実現しています。また、循環肥料の市内農地での活用など、都市と農地が近接している横浜市の特徴を生かした取組が進められています。 ● 大気や水、土壌などの生活環境の保全に加え、樹林地や河川、海などの自然環境が保全されると共に、市街地でのみどりの創出が進み、市民の皆様が水辺やみどりを身近に感じられています。 	施策群31 公園・動物園 施策群32 都市農業 施策群33 みどりの保全と創出

「横浜市中期計画2026～2029(素案)」の
詳細はホームページをご覧ください

横浜市中期計画2026～2029 素案 🔍



横浜のポテンシャルや魅力をより高め、横浜の更なる持続的な成長・発展につながるテーマについて、「明日をひらく都市プロジェクト」として、3つのテーマで施策横断的に取り組みます。

「明日をひらく都市プロジェクト」は、計画期間である4年後の目指す姿はもちろんのこと、2040（令和22）年の横浜の姿も目標に掲げ、民間活力を積極的に誘引しつつ、国等との連携も強化しながら、戦略的に取り組んでいきます。

1 循環型都市への移行

生産・消費・再資源化のあらゆるステージで
循環型都市を目指す「YOKOHAMA CIRCULAR LINK※」

2 観光・経済活性化

にぎわいが経済を育み、世界とつながる横浜へ

3 未来を創るまちづくり

日々の暮らしを豊かにし、都市の経済を成長させ、
活力あふれる横浜へ

※横浜の都市特性を生かした、「食・農」「建築・住宅」「資源調達」「企業活動」「消費・行動変容」「DX」の6分野における
重点的な取組を相互にリンクさせ、循環型都市に向けた大きな流れを作り出すもの

新たな中期計画の策定スケジュール

令和7年9月

「新たな中期計画の基本的方向」公表

市民意見募集の実施等

令和7年12月

「横浜市中期計画2026～2029（素案）」の策定

パブリックコメントの
実施等

令和8年5月頃

原案の策定 ※原案を基に議案を提出する予定です。

該当する項目に☑を入れ、ご意見をご記入ください。（複数選択可）

※該当する項目がわからない場合等は、その他に☑してください。

巻頭

☐ 都市像「明日をひらく都市」

I章 「横浜市中期計画2026～2029」の策定

☐ 計画の考え方 ☐ 計画の推進にあたって

II章 基本姿勢

☐ データ経営の徹底 ☐ SDGs実現の視点

III章 計画の全体像

☐ 戦略 ☐ 計画体系 ☐ データ駆動型経営への本格移行

IV章 政策・施策

☐ 14の政策群と33の施策群 ☐ 明日をひらく都市プロジェクト

V章 行財政運営

☐ 行政運営 ☐ 財政運営

VI章～VIII章

☐ 大都市制度 ☐ 計画の前提 ☐ 計画の策定経過

（☐ その他：_____）

ご意見

切り取り線



「横浜市中期計画2026～2029(素案)」 のパブリックコメントについて

募集期間

令和8年1月5日(月)から2月27日(金)まで

ご意見の提出方法

インターネット 入力フォーム

右の二次元コード(横浜市電子申請・届出システム)へ
アクセスし、ご入力ください。

※インターネット入力フォームは、1月5日(月)からご利用できます。



はがき

本リーフレットのはがきを切り取ってご利用ください。
(切手不要、当日消印有効)

電子メール

ss-chuki2026@city.yokohama.lg.jp

FAX

045-663-4613

※電子メール、FAXでご意見をお寄せいただく場合は、様式の定めはありませんが、「横浜市中期計画2026～2029(素案)」に
ついてのご意見である旨を明記の上、本リーフレット内のはがきの設問項目の内容に沿ってご提出ください。

郵便はがき

231-8790

005

料金受取人払郵便

横浜港局
承認

2480

差出有効期限
令和8年
2月27日まで
(切手不要)

見本

(受取人)

横浜市中区本町6-50-10

横浜市政策経営局 経営戦略課 行



●該当する項目にチェック、記入をお願いします。

■住所

☐ 横浜市 _____ 区

☐ 横浜市内

■年代

☐ ～10歳代(未成年)

☐ 30歳代

☐ 60歳代

☐ ～10歳代(成人)

☐ 40歳代

☐ 70歳代

☐ 20歳代

☐ 50歳代

☐ 80歳代～

- ・ご意見の内容は、本市の考え方とともに、個人情報を除き、後日ウェブページで公表します。なお、第三者の利益を害する恐れのあるものなど内容により公表しない場合があります。
- ・ご意見を正確に把握するため、お電話やご来庁でのご意見の受付や個別の回答はいたしません。
- ・ご意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「個人情報の保護に関する法律」等に基づき適正に管理し、本案に対する意見募集に関する業務にのみ使用します。



横浜市

横浜市政策経営局経営戦略課

TEL:045-671-2010

FAX:045-663-4613

令和7年12月作成

**横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子と横浜市防犯のまちづくり
推進プラン(仮称)素案のパブリックコメント実施について (情報提供)**

1 背景・概要

特殊詐欺などの増加による犯罪情勢の変化や、人口減少、少子高齢化の進展といった社会的変化に対応するため、市の責務を明確化し、市民や事業者とともに安心して安全なまちづくりを進めることを目的とする条例を制定します。また、条例の目的達成と実効性を担保し、体系的な防犯施策を推進するための計画づくりを進めています。条例案の骨子及び防犯計画の素案について、皆様の多様な意見を反映するため、パブリックコメントを実施します。

(1) 横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

市の基本理念を示し、市の責務や事業者・市民の役割を明確化するとともに、地域との協働による犯罪抑止と防犯のまちづくりの方向性を定める条例です。

(2) 横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案

【期間 2026(令和8)～2029(令和11)年度<第1期>

先端技術の活用による防犯インフラ整備をはじめ、市民、地域、事業者、そして行政が一丸となって、犯罪を防止し、安心して安全なまちづくりを進めていくための、今後4年間の施策を体系化した計画です。

2 お願いしたいこと

【区連長】 ご承知おきください。

【地区連長】 地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】 単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 スケジュール今後の取組予定等

(1) パブリックコメント実施期間

2026年1月9日(金)～2月22日(日)

(2) 主な周知方法

- ・広報よこはま1月号
- ・市HP(防災・救急>防犯>お知らせ)
- ・各区役所 広報相談係
- ・市民情報センターでのチラシ配布

(3) パブリックコメント後のスケジュール

2026年3月 : 意見公募結果を公表

2026年5月～6月 : 令和8年第2回市会定例会へ上程

4 参考資料

参考1 横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

参考2 横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案 概要版

参考3 チラシ(市民意見募集の実施について)

参考4 意見投稿用紙(郵送・FAX等でご活用ください)

市民局地域防犯支援課

担当 川口

電話 045-671-3705/FAX 045-664-0734

メール sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

名称 「横浜市防犯のまちづくり推進条例」 (仮称)

概要 **市の責務並びに事業者及び市民の役割を明らかにし、防犯のまちづくりを推進することを目的とします。**

(※事業者や市民の皆さまに義務を課したり、権利を制限したりする内容ではありません。)

条例案の骨子

目的	横浜市における犯罪の防止に関し、市の責務、事業者及び市民の役割を明らかにすること。防犯のまちづくりを推進するために必要な事項を定め、もって安心して安全な住みよい地域社会の実現を総合的かつ計画的に推進すること など
基本理念	市、事業者及び市民がそれぞれの役割を果たしながら、協働して防犯に取り組むこと など
本市の責務	目的を達成するため、関係機関と連携すること。防犯のまちづくりに関する施策を策定し、実施すること
事業者の役割	事業活動に当たり、犯罪被害防止のための必要な措置を講じること。市の施策に協力するよう努めること
市民の役割	自らの犯罪被害を防止するために必要な措置を講じること。他の市民に犯罪被害が及ばないように留意すること。市の施策に協力するよう努めること
計画の策定	市長は、防犯のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、防犯のまちづくりに関する基本的な計画を定めること。計画の策定にあたっては、市民、事業者等の意見を反映できるよう必要な措置を講じること
施策の推進	市長は、データ分析やデジタル技術の活用等に積極的に取り組み、市民、事業者等の意識の啓発を推進し、相互に連携と協力を図るよう努めること など

横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案 概要版

1 計画策定の経緯

本市におけるこれまでの防犯の取組と成果

「よこはま安全・安心プラン」(平成17年策定)

横浜市では、平成17年に「よこはま安全・安心プラン」を策定し、「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念のもと、市民一人ひとりが防犯の主体となる自主防犯力の強化を掲げました。この計画では、行政だけでなく、市民、事業者、警察、学校など地域に関係する多様な主体が連携し、地域ぐるみで犯罪を防ぐ仕組みづくりを推進してきました。

主な取組内容

- ・LED防犯灯の整備(約18万灯)
- ・地域主体による防犯活動の支援
- ・地域防犯カメラの設置補助
- ・様々な場面を活用した啓発活動

成果

これらの取組により、刑法犯認知件数は、戦後最高を記録した平成16年の74,667件から令和3年には12,746件へと、約6分の1にまで減少し、一定の成果がありました。

2 今日的な課題

犯罪情勢の変化(脅威)

近年、横浜市を含む全国的な犯罪情勢は大きく変化しており、犯罪の手口が多様化・巧妙化しています。

- ・特殊詐欺やSNSを悪用した詐欺の増加
- ・いわゆる「闇バイト」などによる凶悪事件の発生
- ・刑法犯認知件数の再増加(令和4年以降)

社会の変化(背景)

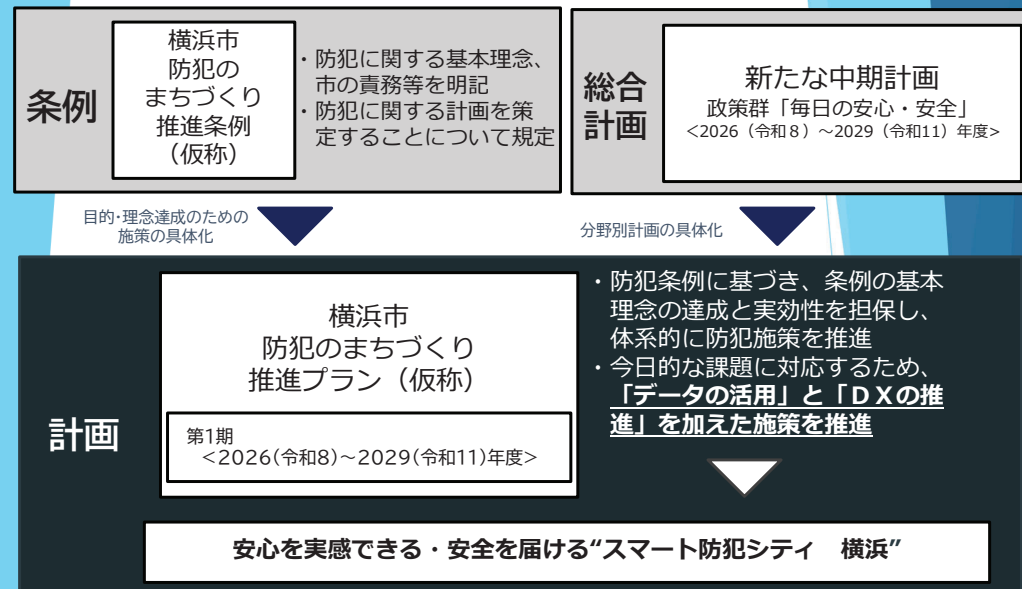
現代社会の構造変化により、地域防犯活動を取り巻く環境は大きく変化しています。

- ・少子高齢化の進行と世帯構造の変化
- ・地域コミュニティの希薄化

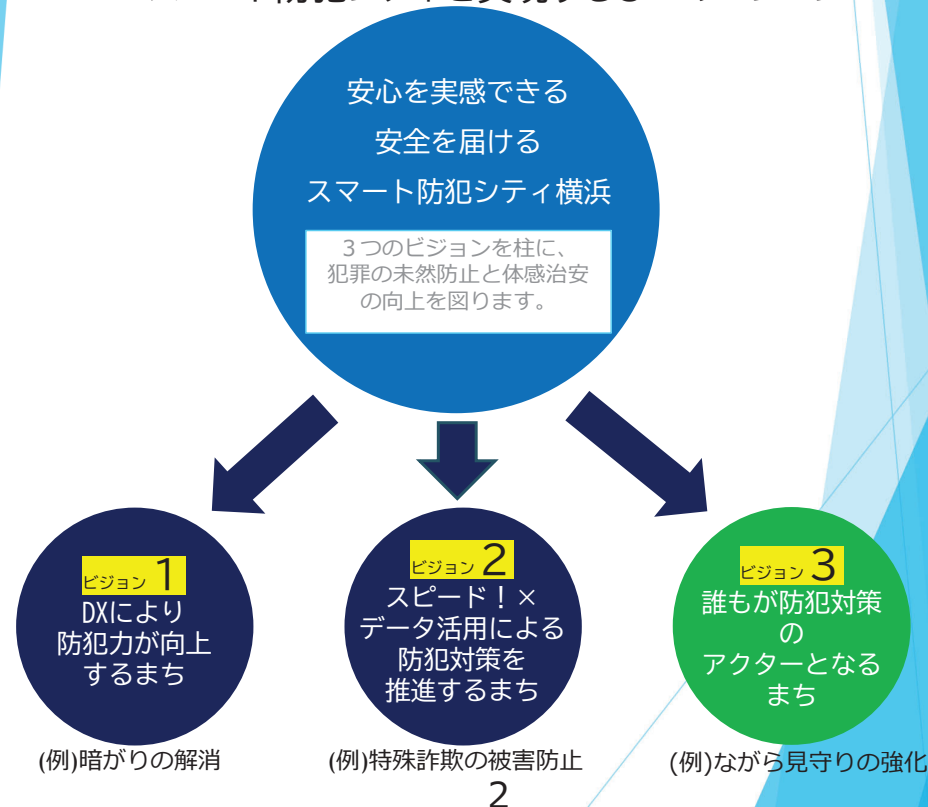
防犯条例・新たな防犯計画の必要性

- ・自治会・町内会の加入率が年々低下しており、地域コミュニティの再構築が求められる一方、従来の地域支援型の取組だけでは急速に変化する社会や犯罪手口の多様化に十分対応できないおそれがあります。
- ・市の責務を明確化し、防犯に関する基本的な考え方と取組方針を示すために新たな防犯条例を制定し、その条例に基づいて市が主導して防犯対策を体系的かつ計画的に推進するための行動計画を策定する必要があります。
- ・行動計画の実施にあたり、市民・地域・事業者・警察、そして行政が一丸となって、持続可能な安心・安全な防犯のまちづくりを実現します。

3 新たな防犯計画の方向性



スマート防犯シティを実現する3つのビジョン



ビジョン1 DXにより防犯力が向上するまち

<現状と課題>

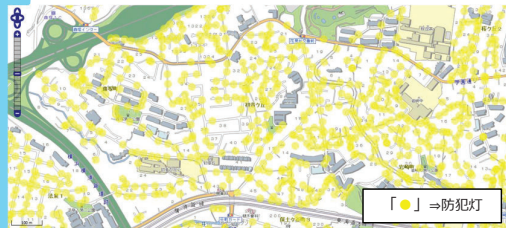
- ・夜間の暗い道路に対する不安感
- ・地域防犯活動の担い手不足
- ・子ども・高齢者を狙った犯罪と体感治安の悪化

<解決の方向性>

- ・安心を実感できる環境の構築
- ・防犯情報を可視化し、地域の安全を「見える化」

<取組案>

暗がりの解消



防犯灯の位置情報を記載した地図データ（イメージ）

<市民意識>

防犯上不安を感じる場所

夜間の道路（暗い道など）	71.7%
繁華街・歓楽街	58.2%
ネット空間（SNSなど）	39.6%
駅やその周辺	36.5%
公園や広場	29.6%
自宅	29.2%
通学路	11.8%
集合住宅の共用部	11.7%

地域の防犯活動への参加経験

- ・以前は参加していたが今は参加していない
- ・参加したことがない

67.5%

地域の防犯活動へ参加しない理由

時間的に余裕がない	41.0%
防犯活動の情報が届いていない	34.9%
参加したいが、どのような活動があるのかわからない	29.6%

<市民意識>

利用したいと思う防犯情報源

テレビやラジオのニュース・情報番組	46.7%
行政や警察の公式SNS	44.5%
自治会・町内会からの回覧板や掲示板	44.2%
行政や警察の公式広報誌	38.7%
行政や警察の公式Eメール配信サービス	36.5%
インターネットニュースサイト	31.2%
新聞や地域情報誌	27.7%
防犯アプリ（かながわポリスなど）	26.9%
行政や警察の公式ホームページ	24.7%

【出典】防犯意識に関するアンケート結果

※ナッジ（nudge）とは、人々の行動を自然に望ましい方向へ促す工夫のことです。強制や命令ではなく、選択の自由を残しつつ、ちょっとした「きっかけ」や「仕掛け」で行動を変える方法です。

ビジョン3 誰もが防犯対策のアクターとなるまち

<現状と課題>

- ・地域防犯活動の担い手不足（再掲）
- ・防犯活動の属人化
- ・参加機会の不足

<解決の方向性>

- ・誰もが自然に防犯に関われる環境整備
- ・多様な主体による協働
- ・防犯活動情報の発信
- ・夜間の安心感を高めるための防犯力の強化

<取組案>

ながら見守りの強化



横浜地域活動・ボランティア情報サイト「よこむすび」



<市民意識（再掲）>

地域の防犯活動への参加経験

- ・以前は参加していたが今は参加していない
- ・参加したことがない

67.5%

地域の防犯活動へ参加しない理由

時間的に余裕がない	41.0%
防犯活動の情報が届いていない	34.9%
参加したいが、どのような活動があるのかわからない	29.6%

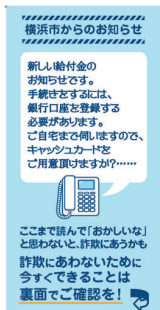
【出典】防犯意識に関するアンケート結果

4 ロードマップ

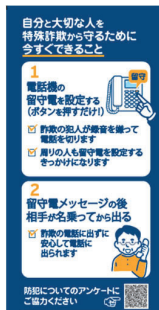
2026（令和8）年 5月頃 条例の議案の上げ・計画原案の策定

2026（令和8）年 条例の施行とともに計画開始

【表】



【裏】



横浜市防犯のまちづくり推進条例 及びプラン(仮称)案について、 皆様のご意見を募集します！

意見募集期間：令和8年1月9日(金)～2月22日(日)



あなたの声が“安心・安全なまち”
よこはまを作ります！

横浜市市民局
地域防犯支援課

住 所：神奈川県横浜市中区本町

住 所：6丁目50番地の10 横浜市庁舎12階

電 話：045-671-3705

メール：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

詳細は
こちら！



横浜市防犯のまちづくり推進条例及びプラン(仮称)案 について市民の皆様からご意見を募集します！

(パブリックコメント)意見募集期間：令和8年1月9日(金)～令和8年2月22日(日)

1 経緯

横浜市では、平成17年に「よこはま安全・安心プラン」を策定し、“自分たちのまちは自分たちで守る”という自主防犯力の強化を掲げ、地域と行政の連携による防犯対策を推進してきました。

しかし近年、犯罪の手口は多様化・巧妙化し、刑法犯認知件数も増加に転じています。さらに、少子高齢化や地域のつながりの希薄化などにより、防犯活動の担い手確保が困難となっています。こうした今日的な課題に対応するため、市の責務を明確化した防犯条例を制定し、体系的な防犯対策を進める新たな防犯計画を策定します。つきましては、本案に対する市民意見（パブリックコメント）を募集します。ぜひ皆様のご意見・ご提案をお寄せください。

2 資料の公表方法

本意見募集の内容及び資料は、次の本市ウェブサイト（右の二次元コードを読み込み）に掲載します。併せて、各区役所 広報相談係、市民情報センター（市庁舎3階）及び担当窓口（連絡先等は本ページ末尾を参照）にて、令和8年1月9日(金)から2月20日(金)まで資料を配布・配架します。

(URL) <https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bohan/oshirase1/test.html>



3 意見の提出方法

(1) 募集期間

令和8年1月9日（金）～令和8年2月22日（日）（必着。郵送の場合は左記の期間内の消印有効。）

(2) 提出方法

次の①から④のいずれかの方法により意見を提出してください。なお、電話での意見の提出には対応いたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

①オンライン入力フォーム

右の二次元コードを読み込み、本市の電子申請・届出システムから提出してください。

②電子メール

意見投稿様式（上記2の本市ウェブサイトからダウンロード）に、意見を入力の上、次の電子メールアドレスに送信してください。

電子メールアドレス：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp



③郵送又は持参

意見投稿様式に意見を記入の上、担当窓口（本ページ下段）まで郵送又は持参いただき、提出してください。（持参される場合は、平日8：45～12：00、13：00～17：15にお越しください。）

④ファクシミリ(FAX)

別添の意見投稿様式に意見を記入の上、次のFAX番号に送信してください。

FAX番号：045-664-0734

(3) 留意事項（次の事項を予め承知ください。）

- 意見への個別の回答はいたしません。
- お寄せいただいた意見は、本件の目的のみに使用し、意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「個人情報の保護に関する法律」の規定に従い適正に管理し、意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用させていただきます。

4 今後のスケジュール

今回の意見募集に提出いただいた意見とそれに対する本市の考えは、上記2の資料の公表方法と同様に、本市ウェブサイト、各区役所区政推進課等にて令和8年3月ごろの公表を予定しています。市民の皆様からの意見を踏まえて更に検討を進め、令和8年5月ごろの市会に条例を議案として上程、計画(プラン)原案を策定する予定です。

◆担当窓口（意見提出先／問合せ先）

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 横浜市庁舎12階

横浜市 市民局 地域防犯支援課

電話：045-671-3705（平日8:45～17:15）Email：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

意見投稿用紙

令和 年 月 日

市民局地域防犯支援課 宛て

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子、横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案について、以下のとおり意見を提出します。

(別紙に記載する場合は「別紙に記載」と明記し、意見を記載した別紙を添付してください。)

ご意見を記入される方について（該当する項目にチェックをつけてください。）	
【居住】 <input type="checkbox"/> 青葉区、 <input type="checkbox"/> 旭区、 <input type="checkbox"/> 泉区、 <input type="checkbox"/> 磯子区、 <input type="checkbox"/> 神奈川区、 <input type="checkbox"/> 金沢区、 <input type="checkbox"/> 港南区 <input type="checkbox"/> 港北区、 <input type="checkbox"/> 栄区、 <input type="checkbox"/> 瀬谷区、 <input type="checkbox"/> 都筑区、 <input type="checkbox"/> 鶴見区、 <input type="checkbox"/> 戸塚区、 <input type="checkbox"/> 中区、 <input type="checkbox"/> 西区 <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区、 <input type="checkbox"/> 緑区、 <input type="checkbox"/> 南区、 <input type="checkbox"/> 横浜市外	
【性別】 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 回答しない	
【年代】 <input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20～29歳 <input type="checkbox"/> 30～39歳 <input type="checkbox"/> 40～49歳 <input type="checkbox"/> 50～59歳 <input type="checkbox"/> 60～69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上	
意見の内容 ※条例、プラン(ビジョン１～３等)についてご意見願います。	

- ※1：法人又は団体にあつては、その名称並びに代表者の肩書及び氏名を記載してください。
- ※2：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、別紙に記載する場合は、ページ番号を明記してください。
- ※3：御提出いただいたご意見の結果は、後日公表させていただきます。
- ※4：ご意見を正確に把握する必要があるため、電話による御意見はお受けしていません。また、御提出いただいたご意見に対する個別の回答はいたしかねます。あらかじめ御了承ください。
- ※5：御提出いただいたご意見は、個人情報保護に関する法律に則り、適正に管理し、御意見の内容に不明な点があった場合の連絡・確認といった、本案に対する意見募集に関する業務にのみ利用させていただきます。
- ※6：電子メール、郵送又は市民局地域防犯支援課への持参、ファクシミリ(FAX)にてご提出ください。
- 【送付先】市民局 地域防犯支援課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地1012階
FAX：045-664-0734
電子メール：sh-anshinanzan@city.yokohama.lg.jp

自治会町内会ポータルの運用開始について【情報提供】

1 事業の趣旨

令和 8 年 4 月から、自治会町内会ポータルの運用を開始します。

これにより、地域活動推進費補助金の申請等の手続きが、パソコンやスマートフォンからオンラインで行えるようになります。（従来通り、紙での申請も可能です。）

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 自治会町内会ポータルの概要

（1）オンライン申請可能な項目

① 補助金申請

- ・ 地域活動推進費補助金
- ・ 地域防犯灯維持管理費補助金
- ・ 町の防災組織活動費補助金

② 基礎情報（現況届・口座情報等）提出

③ 委嘱委員の推薦届出

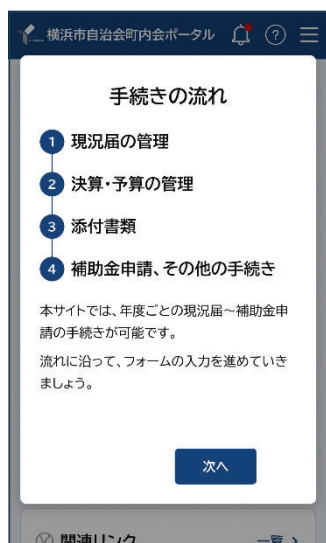
④ 防犯灯新設・移設に係る申請

（2）今後のスケジュール

2 月～3 月 区より自治会町内会へポータルログイン用の初期 ID・パスワードを配付

4 月 1 日 ポータルの運用開始予定

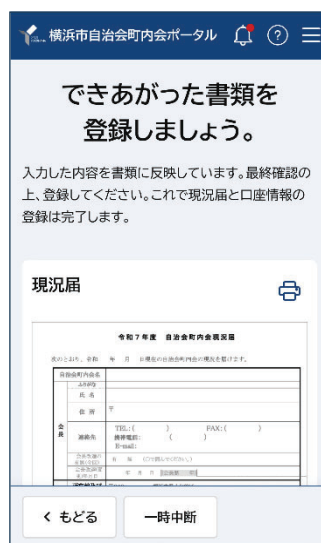
（3）画面イメージ（スマートフォン版） ※画面は開発中のものです。



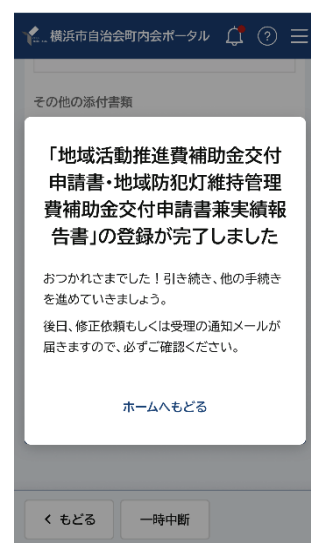
手続きのご案内画面



申請する補助金の確認画面



作成書類の確認画面



完了画面

市民局地域活動推進課
担当 栗田、石栗
電話 045-671-3624 FAX 045-664-0734
メール sh-jichikai@city.yokohama.lg.jp

都筑区の伝統芸能・文化に関する団体調査について（依頼）

日ごろから、地域の文化振興に特段の御尽力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、都筑区では、文化継承と地域コミュニティの強化等を目的として、区内の伝統芸能・文化に関する団体の調査を実施します。

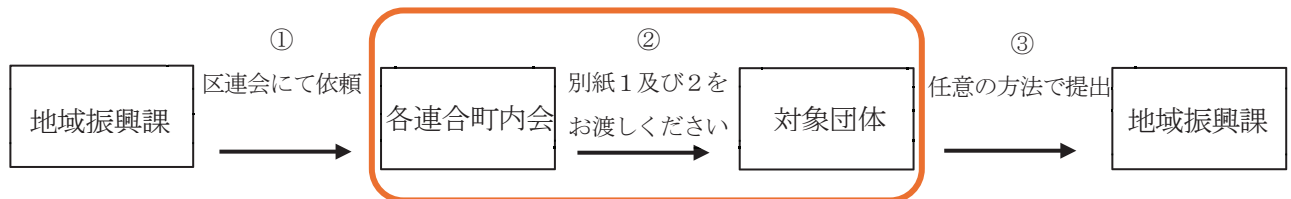
つきましては、各地域で活動をされている団体があれば添付の調査票を配付いただきますようお願い申し上げます。

1 対象団体

「主な活動（練習・発表）場所が都筑区」かつ「日本の伝統芸能・文化を保存・継承していくことを一つの目的としている」団体

※詳細は裏面をご参照ください。

2 調査全体の流れ（※地区連合町内会自治会長の皆様へは、②を依頼します）



なお、区連会のほか、地域の文化活動関係者・区民利用施設（※）等へも別途調査へのご協力を依頼しています。広範な団体の皆様にご協力をお願いしているため、対象団体への調査依頼が重複する場合がございます。恐れ入りますが、その際はご理解賜りますようお願い申し上げます。

※都筑区民文化祭実行委員会、都筑文化芸術協会、地区センター等を想定

3 提出期限（対象団体から区地域振興課）

令和8年2月27日（金）（必着）

4 提出方法（対象団体から区地域振興課）

①次頁 URL（横浜市電子申請システム）から申請

②別添調査票を地域振興課まで郵送

③別添調査票を地域振興課窓口まで持参

※各団体から直接ご提出いただくようお願いいたします。各連合自治会でとりまとめていただく必要はありません。

裏面あり

【提出先】

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/0f311bf9-614e-4d29-a0de-2c5b13e673de/start>



←横浜市電子申請システム「【都筑区】伝統芸能・文化に関する団体調査」
二次元バーコード

5 提出先

都筑区地域振興課区民活動係

6 参考

本調査において対象とする「伝統芸能・文化」のジャンルについては、下記のとおり想定しております。なお、記載のジャンルは例示であり、これに限るものではありません。
ご不明点等ございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

ジャンル名	種別	参考
三曲	音楽	R6 イベントアンケートで登場・区活等に関連登録団体有
和太鼓	音楽	R6 イベントアンケートで登場・区活等に関連登録団体有
琵琶	音楽	R6 イベントアンケートで登場
篠笛	音楽	区活等に関連登録団体有
日本舞踊	演芸	R6 イベントアンケートで登場・区活等に関連登録団体有
人形浄瑠璃	演芸	R6 イベントアンケートで登場
能楽	演芸	R6 イベントアンケートで登場
落語	演芸	R6 イベントアンケートで登場
歌舞伎	演芸	R6 イベントアンケートで登場
阿波踊り	演芸	区活等に関連登録団体有
よさこい	演芸	区活等に関連登録団体有
かっぱれ踊り	演芸	区活等に関連登録団体有
八木節	演芸	区内に関連団体有
お囃子	音楽演芸どちらも兼ねる	R6 イベントアンケートで登場
雅楽	音楽演芸どちらも兼ねる	R6 イベントアンケートで登場
着物	文化	区活等に関連登録団体有
茶道	文化	区活等に関連登録団体有・R6 区民文化祭で体験有
水墨画	文化	区活等に関連登録団体有
華道	文化	R6 区民文化祭で展示有

調査依頼に関するお問合せ先：都筑区地域振興課区民活動係 中村・中川

電話：948-2238

(調査内容に関するお問合せ先：NPO 法人 都筑民家園管理運営委員会

電話：594-1723)

ご協力をお願い

この調査は、都筑区の文化継承と地域コミュニティの強化等を目的として、区内にある伝統芸能・文化に関する団体についてお伺いするものです。横浜市電子申請システムまたは郵送、窓口お持ち込みでご回答ください。なお、ご回答内容は区のホームページ等で公開する場合があります。また、連絡先などの個人情報[※]の公開については、別途回答欄をご確認ください。

<回答期限>

令和8年2月27日（金）まで

<対象団体>

「主な練習場所・発表場所が都筑区である」かつ「日本の伝統芸能・文化の保存・継承を一つの目的と
している」団体

横浜市電子申請システムで回答する場合

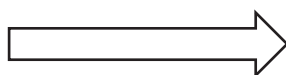


二次元バーコードから回答フォームにアクセスしてください。

※2月28日以降はアクセスできません。

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/0f311bf9-614e-4d29-a0de->

郵送・窓口お持ち込みで回答する場合

調査票に回答を
記入封筒に入れ、期限までにポストに投函・
もしくは地域振興課窓口までお持ち込み
ください。

◆調査票提出先◆

都筑区地域振興課 区民活動係

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32 番 1 号 都筑区役所 5 階 54 番窓口

◆お問合せ先（調査の内容について）◆

（都筑区の伝統芸能・文化に関する団体調査業務委託先）NPO法人 都筑民家園管理運営委員会

電話：045-594-1723 電子メール：main@tminkaen.org

都筑区の伝統芸能・文化に関する団体 調査票

別紙 2

ご回答内容は区 HP 等で公開する場合があります。連絡先などの個人情報の公開については、
下記回答欄をご参照ください。

(ふりがな) ()

団体名

ジャンル (該当に☑)

- ☐三曲(琴・三味線・尺八) ☐和太鼓 ☐琵琶 ☐しの笛 ☐日本舞踊 ☐人形浄瑠璃
☐能楽 ☐歌舞伎 ☐落語 ☐阿波踊り ☐よさこい ☐かっぽれ踊り ☐八木節 ☐お囃子
☐雅楽 ☐着物 ☐茶道 ☐華道 ☐水墨画 ☐その他()

現在の活動状況 (該当に☑)

活動の有無: ☐活動中 ☐休止中

活動中の場合は頻度: ☐1回/週以上 ☐1回/月程度 ☐数回/年程度

活動内容 (例文: 幼児から大人までを対象に箏のお稽古。年1回の演奏発表会。地域のお祭りなどのイベントにも参加。)

※HP などあれば URL :

主な練習場所	(施設名)	(住所を町名まで)
	①	
	②	
主な発表場所	(施設名)	(住所を町名まで)
	①	
	②	

連絡先 (該当する公開範囲に☑)

氏 名: ☐一般公開 ☐区の共催・後援事業の主催者のみ可

電話番号: ☐区役所内のみの取り扱い可 ☐その他()

email: ☐一般公開 ☐区の共催・後援事業の主催者のみ可

構成人数 (該当に☑) ☐10人以下 ☐11~30人 ☐31~60人 ☐61人以上

法人格の有無 (該当に☑) ☐有 ☐無

設立年度

年

新規メンバー募集 (該当に☑)

☐有

☐無

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/0f311bf9-614e-4d29-a0de-2c5b13e673de/start>



こちらの QR コードからでもご回答いただけます。
※令和 8 年 2 月 27 日 (金) までアクセス可能

ご協力ありがとうございました。

都筑区自治会町内会 会長 各位

都筑区地域振興課長 須藤 健一

自治会町内会向け事例発表・交流会 「都筑スタイル café ミーティング」の参加者募集について(依頼)

向寒の候 ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

都筑区の自治会町内会支援の一環として、昨年度に引き続き「都筑スタイル café ミーティング」を開催します。都筑区において活動の魅力アップや課題解決に取り組んだ自治会町内会の事例発表のほか、参加者同士の交流・意見交換の時間を予定しています。会長や役員の皆様、今後の役員候補の方等、お誘いあわせの上御参加ください。

こんな方にオススメです！

- ☐ 他の自治会町内会がどんな取り組みを行っているのかを知り、今後のヒントを得たい
- ☐ 自治会町内会活動の困りごとやアイデアを多くの人と共有し、つながりを深めたい 等

1 日 時 令和 8 年 3 月 7 日（土） 10 時 00 分～12 時 30 分（受付開始 9 時 30 分）

2 対 象 者 区内の自治会町内会で活動されている方等

3 開 催 場 所 都筑区役所 6 階大会議室

4 内 容

・自治会町内会実践報告

- ①カフェで生まれるつながりの輪(メゾンふじのき台自治会)
- ②つながりを深めるデジタルのチカラ(東山田四丁目町内会)

・つながりcaféタイム（休憩）提供：都田スマイルcafé

・ひらめき！自治会町内会アイデアひろば

～地域活動のヒントをシェアする参加者同士の交流会～



過去の「都筑スタイル café ミーティング」の様子

詳細は添付のチラシをご覧ください

裏面あり
(定員・申込方法)

5 定 員

30 人程度（先着順）

6 申込方法・期限

自治会町内会毎にとりまとめの上、「都筑スタイル café ミーティング申込書」を
令和 8 年 3 月 2 日（月）17 時まで、次のいずれかの方法でお申込みください。

(1)申込フォーム(電子申請システム)

二次元コードからアクセス



(2)申込書の提出(FAX・持参)

別紙申込書を下記＜お申込み先＞まで提出

※ 申込内容について確認する場合や定員超過などご参加いただけない場合のみ、代表者（申込者 1）の方に御連絡します。

特に連絡がない場合は、皆様ご参加頂けますので、当日会場までお越しください。

※ いただいた個人情報は、都筑区役所及び株式会社イータウンの協働事業である「都筑の自治会町内会応援事業」の目的のみに使用します。

※ 当日の様子を撮影し「都筑の自治会町内会応援事業」の広報に使用する可能性がありますので御了承ください。

＜お申込み先・お問合せ先＞

担当 都筑区地域振興課 地域力推進担当 嶋田・柏木

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32 番 1 号

電話：9 4 8－2 4 7 4

FAX：9 4 8－2 2 3 9

Email:tz-chiikiryouku@city.yokohama.lg.jp

3/7 自治会町内会向け事例発表・交流会

(都筑スタイル café ミーティング)

申込書

申込期限: 3月2日(月)17時

【申込先】都筑区地域振興課地域力推進担当 FAX: 948-2239

連合町内会自治会名
または
自治会町内会名

【必須】 代表者 (申込者1)	氏名 (ふりがな)	()
【任意】 申込者2	氏名 (ふりがな)	()
【任意】 申込者3	氏名 (ふりがな)	()
【必須】 代表者電話番号	— —	
【必須】 代表者 E メールアドレス	@	
【任意】 あなたの自治会町内会で行っている、ちょっとした工夫やアイデアを3つ教えてください。 (今後挑戦してみたいこと、あったら嬉しいことでも OK です) ※グループワークの参考とします		(例: 清掃活動後にお茶とお菓子で交流タイムを設けている、会館のカギをキーボックスで引き継ぎしている、掲示板に「防災豆知識」コーナーを設けている等) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

令和7年度

自治会活動をもっと楽しく！クリエイティブに！

都筑スタイル

都筑の自治会町内会応援事業

都筑スタイル café ミーティング

地域がつながる、広がる！

自治会活動がもっと楽しくなるアイデア交流会

日時 令和8年3月7日(土) 10時～12時30分 (受付開始9時30分)

場所 都筑区役所6階大会議室

(都筑区茅ヶ崎中央 32-1)

費用 無料

■ プログラム ■

1 自治会町内会実践報告

「地域のつながり」をテーマに、自治会町内会の実践事例を発表します。

(1) カフェで生まれるつながりの輪(メゾンふじのき台自治会)

(2) つながりを深めるデジタルのチカラ(東山田四丁目町内会)

こんな人に
オススメ！

負担なく、
すぐに挑戦できる
取組が知りたい

役員も楽しみながら
活動できるアイデアが欲しい

デジタルで地域の
つながりを深めたい

☕ つながり café タイム (提供：都田スマイル café)

ドリンクを飲んでホッと一息。参加者同士が自由に語り合える交流タイムです！

2 ひらめき！自治会町内会アイデアひろば

～地域活動のヒントをシェアする、参加者同士の交流会～

地域活動を行う上での、ちょっとした工夫やアイデアを持ち寄り、意見交換を行います。皆さんで事例を共有することで、悩みや疑問の解決につながるかも！？

✂ 受講対象者・定員(先着順)

区内の自治会町内会で活動している方：30名程度

✂ 申込方法

横浜市電子申請システムまたは申込書(*)に必要事項を記入の上、締切までにお申し込みください。

※申込書は区連会資料(1月分)として各自治会町内会に配送予定です。

電子申請システム

右の二次元コードを読み込んでください。

申込締切：3月2日(月)17時



お申込み

・いただいた個人情報は、都筑区役所及び株式会社イータウンの協働事業である「都筑の自治会町内会応援事業」の目的のみに使用します。
・当日の様子を撮影し、ホームページや広報紙など「都筑の自治会町内会応援事業」の広報に使用する可能性がありますので御了承ください。

問合せ先：都筑区地域振興課地域力推進担当 電話番号：045-948-2474 FAX：045-948-2239

メールアドレス tz-chiikiriyoku@city.yokohama.lg.jp

本事業は、株式会社イータウンと横浜市都筑区の協働事業です。



都筑スタイル
ホームページ

登壇者紹介

自治会町内会で実際に取組を担う方々が、事例を交えてリアルに語り合います。
取り組んで良かったことや苦勞したこと等、ここでしか聞けないエピソードが満載です。

#多世代交流 #コミュニティカフェ #デジタル活用 #若者 #省力化 #持続可能 #つながり

メゾンふじのき台自治会

令和6年度アドバイザー派遣 /
イベント・実施サポート活用

マンションの集会所を活用し、多世代が交流できる**コミュニティカフェ**を開催。小学生から高齢者まで楽しめる企画を用意し、前年度役員とのつながりを活かしながら、新しい人材も巻き込みます。地域の課題である「**担い手不足**」や「**世代間の交流**」を解決するヒントが詰まった、実践的で温かいつながりづくりの取り組みです。



東山田四丁目町内会

横浜市自治会町内会のための
講習会 発表団体

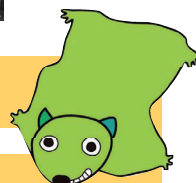


発表動画

LINE 公式アカウントやホームページ、AI などの**デジタルツール**を活用し、**活動の効率化**を進めています。デジタルの導入により、現役世代の**役員や組長**が**参加しやすい雰囲気や仕組みづくり**を推進しています。また、地域サークルとの連携を通じて、若者から高齢者まで幅広い世代のつながりを深め、**持続可能な町内会運営**に取り組んでいます。



【ご案内】都筑区民活動センターをご活用ください！



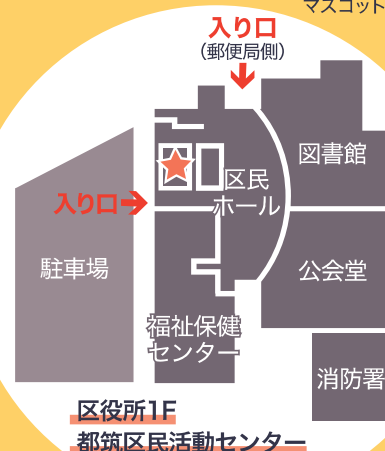
マスコットキャラクター
モモちゃん

都筑区民活動センターでは、打ち合わせに使えるミーティングスペースのほか、印刷機や紙折り機等の機材が利用可能です。(無料・事前予約制)さらに、得意なことや資格を活かしたボランティア「都筑区まちの先生」をご紹介します。まずはお気軽にお問合せください。



貸し出しできる機材(無料)

- 印刷機(紙は持込)
- 紙折り機
- プロジェクター
- スクリーン
- ワイヤレスアンプ&マイク
- モニター(49インチ)
- サンタクロース衣装 等



詳細はこちら

問合せ先：都筑区民活動センター(都筑区役所1階) 045-948-2237 メールアドレス：tz-katsudo@city.yokohama.lg.jp
休館日：日曜・祝日・毎月第3月曜日

講師

パッキンマックン

「パッキンマックンと考える これからの多文化共生」

これまで経験してきたカルチャーギャップ
や考え方の相違などから、文化や言語が
異なる人々がお互いを尊重し合い、共に
輝いて生きていくためのヒントについて、
お話いただきます。

プロフィール

パッキンマックン(タレント)

吉田眞(よしだ まこと)(マックン)とアメリカ・コロラド州
出身のパトリック・ハーラン(パッキン)が1997年に共通の
知人の紹介で知り合い、パッキンマックンを結成。日米文化
をネタにしたお笑いで人気を博し、現在もテレビやラジオ、
イベントなど幅広いフィールドで活躍している。



開催日：令和8年**2月17日(火)**

参加費
無料

午後2時～午後3時 30 分
(開場 午後1時 30 分)

会 場：都筑公会堂(都筑区総合庁舎1階)

※公共交通機関をご利用ください(駐車場は有料です)

定 員：500 名(事前申込制、先着順)

申込方法

「インターネット(電子申請)※二次元コードから」、「往復はがき」のいずれかからお申込みください。

申込期間：令和8年1月6日(火)～令和8年2月4日(水)(2月4日消印有効)

インターネット(電子申請)申込はこちら



申込詳細は、都筑区ウェブサイトまたは
本チラシ裏面をご確認ください。

都筑区人権啓発講演会

検索



申込方法

インターネット(電子申請)の場合

【締切】令和8年2月4日(水)

①申し込みフォームから案内に従って入力してください。

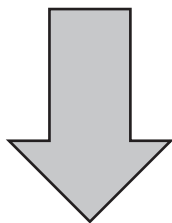
申込はこちら▼



または都筑区ウェブサイトから
お申込みください▼

都筑区人権啓発講演会

検索



②申込期間終了後、メールで送付される「講演会のご案内」をプリントアウトしたもの または スマートフォン等の画面に表示したものを、講演会当日にご持参ください。

(当日受付にて確認いたします。)

往復はがきの場合

【締切】令和8年2月4日(水)(2月4日消印有効)

①はがきに必要事項を記入してください。

(往信表面)	(返信裏面)
<p>郵便はがき</p> <p>85 224 0032</p> <p>往信</p> <p>都筑区総務課 人権啓発講演会担当あて</p> <p>横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-1</p> <p>□□□□□</p>	<p>この面には 何も記入しないでください。</p>



はがきを裏にして

(返信表面)	(往信裏面)
<p>郵便はがき</p> <p>85 □□□ □□□□</p> <p>返信</p> <p>申込者の 郵便番号 住所 氏名</p> <p>を記入してください。</p> <p>□□□□□</p>	<p>①講演会名(人権啓発講演会)</p> <p>②申込者(氏名、ふりがな) 2名まで申込可能 2名の場合、2名分氏名を記入</p> <p>③住所地(市内(都筑区)、市内(都筑区以外)、市外)</p> <p>④連絡先電話番号</p> <p>⑤メールアドレス</p> <p>⑥利用希望の種類 一時保育・手話通訳・車椅子 ※希望の場合は明記 ※一時保育希望(2歳～未就学児) お子さまの氏名(ふりがな)、年齢</p>

②ポストに投函してください。
令和8年2月4日(水)消印有効

③申込期間終了後にお送りする返信はがきを、講演会当日にご持参ください。
(当日受付にて確認いたします。)

・申込者多数により定員を超過した場合は、先着順で参加者を決定いたします。その際、ご参加いただけない方には、原則として令和8年2月12日(木)までに、メールまたはお電話にてご連絡いたします。
・一時保育(2歳～未就学児)が必要な場合には、令和8年1月28日(水)までにお申し込みください。(人数制限あり)

異常気象と向き合う

～天気のプロが教える防災のヒント～

日時

会場

定員

**入場
無料**



• 講師 •

よ だ つかさ
依田 司 氏
(気象予報士)

- ・「第14回 好きなお天気キャスターランキング」（オリコン）で1位を獲得
- ・現在はテレビ朝日「グッド！モーニング」にて気象情報を担当
- ・報道ステーション担当時（2005年～2010年）には、台風解説の度に視聴率20%超えを連発
- ・異常気象や地球温暖化等の講演を得意とし、トークイベントや講演会は常に超満員の人気



お申し込み方法▶ 横浜市電子申請サービス（右記二次元コード）からご申請いただくか、往復はがきにて ①氏名 ②住所 ③連絡先 ④メールアドレス ⑤手話通訳・一時保育（0歳児から未就学児）・車椅子の利用希望 ⑥講演会名をご記載いただき、郵送でお申し込みください。



お申し込み期限：2月16日(月) 消印有効

※定員超過によりご参加いただけない方には、2月18日(水)までに区役所から御連絡させていただきます。

お申し込み・お問合せ先

都筑区役所総務課

〒224-0032 都筑区茅ヶ崎中央32-1
TEL：045-948-2212 FAX：045-948-2208
E-mail：tz-bousai@city.yokohama.lg.jp

都筑区在住
60歳以上の方！

シニア楽農園



シニア
楽農園
YOKOHAMA TSUZUKI

参加者募集！

「シニア楽農園」は、都筑区役所との協働事業として、仲間づくりと健康づくりを目的に、野菜づくりに取り組んでいます。モットーは“明るく 楽しく 元気よく”

この機会に仲間たちと共に野菜づくりを楽しんでみませんか？ **初心者も大歓迎！**

対象者

平日の畑仕事に一年を通しての参加が可能な区内在住の60歳以上の方

活動場所

「シニア楽農園」の畑

(東方公園より徒歩約3分、市営地下鉄グリーンライン都筑ふれあいの丘駅より徒歩約10分)

活動期間

4月～2027年3月

(毎週月・木・金曜日のうち1日、午前中に2時間程度) ※最大6年間、継続可能

参加費

年間13,000円(参加費及び全員加入の傷害保険料)

その他

農作業の他、日帰りハイキング、専門講師による野菜作りや健康に関する講演会など、親睦交流を図る楽しいイベントを実施予定です。

参加を希望される場合は、事前申込のうえ、下記①～⑤いずれかの説明会にご参加ください！

日時	場所
① 2月16日(月)10時～11時	シニア楽農園の畑
② 2月18日(水)14時～15時	都筑区役所6階大会議室
③ 2月19日(木)10時～11時	シニア楽農園の畑
④ 2月20日(金)10時～11時	シニア楽農園の畑
⑤ 2月24日(火)14時～15時	都筑区役所6階大会議室

申込期限 2月13日(金)

申込方法 WEB申込み

シニア楽農園 申込み

検索



※シニア楽農園の畑で実施する回(①・③・④)については雨天時中止
(都筑区役所で実施する回(②・⑤)にご参加ください。)



【参加者の声】
新しいつながりが
できました。育てた野
菜も美味しい！

【問合せ】シニア楽農園の会(総務担当) Eメール: mail@senior-rakunouen.sakura.ne.jp

本依頼文が正式依頼となります。後日郵送での再依頼はありません。

都筑政第 1304 号

令和 8 年 1 月 21 日

<<配布団体名>> 様

都筑区区政推進課長

広報よこはま等の配布謝金支払いに係る
配布部数（令和7年度下半期分）の確認について（依頼）

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

広報配布事業につきまして、日ごろからご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年度下半期（令和7年10～令和8年3月号）分の広報よこはま等の配布謝金のお支払いにあたり、配布部数を確認させていただきます。

つきましては、内容をご確認のうえ、2月13日（金）までに同封の返信用封筒にて提出書類をご返送くださいますようお願いいたします。

ご不明な点につきましては、下記担当までお問い合わせください。

【返送期限】

令和8年2月13日（金）までにご返送ください。

3月末日までに配布謝金のお振込みを行う予定です。

【提出書類】

- ・ 広報よこはま等の配布部数確認票（部数）
- ・ 口座振替依頼書（上半期支払いから口座情報に変更があった場合のみ）

※期限までに書類のご返送がない場合は、配布部数の訂正はないものとして、お振込み手続きを進めさせていただきます。

担当：都筑区区政推進課広報相談係 竹内

電話：045(948)2222 FAX：045(948)2228

E-mail:tz-koho@city.yokohama.lg.jp

<<配布団体名>> 様

広報よこはま等の配布部数確認票

下表は、貴自治会・町内会及び配布団体の令和7年度下半期分（令和7年10～令和8年3月号）の謝金対象配布部数です。配布部数をご確認いただき、下の回答欄に訂正の有無、団体名及び代表者名をご記入の上「口座振替依頼書」とともにご返送ください。

（配布部数の算定基準）

10月～1月は配送実績に基づいた部数、2・3月は配送見込み部数を記載しています。
修正がある場合は、二重線をひき、赤字で修正してください。

	R7.10月号	R7.11月号	R7.12月号	R8.1月号	R8.2月号	R8.3月号	下半期計
部数	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	Xxx
（謝金額の算定基礎）						下半期謝金計	
						¥ xxx	
「広報よこはま」 毎月配布 一部9円×6回						¥ xxx	
「県のたより」 毎月配布 一部8円×6回						¥ xxx	
「議会だより」 12月、2月配布 一部4円×2回						¥ xxx	

【回答欄】

どちらかにチェックを記入してください。

- ☐ 訂正なし
☐ 訂正あり(上記部数表に赤字で修正したとおり)

（報告者）

役職（会長・会計等）：_____

氏名：_____

【報告期限】 2月13日（金）までにご返送ください。

- ・期限までに書類のご返送がない場合は、配布部数の訂正はないものとして、お振り込み手続きを進めさせていただきます。
- ・上半期分振り込みの際にいただいていた振込先に変更がございましたら、同封の「口座振替依頼書」をあわせてご提出ください。

口座振替依頼書

令和 年 月 日

横浜市長

横浜市 都筑 区長

所在地.....

団体名.....

代表者名.....

令和7年4月1日以降、横浜市及び区から交付される令和7年度の地域活動推進費、地域防犯灯維持管理費補助金、広報紙配布謝金（議会だよりを含む）、「町の防災組織」活動費補助金を次の金融機関へ振り込みください。

金融機関名	銀行 信用金庫		支店
			出張所 支所
預金種目	1 普通	2 当座	
口座番号			
(フリガナ)			
口座名義人	(通帳に記載されているとおり団体名も含め全て記入してください。)		

※ 口座名義人が個人名で、会長（代表者）以外の場合は記入願います。

上記口座に横浜市及び区から交付される補助金等の受領に関する権限を委任します。

委任者 代表者

印

【注意事項】

- 口座名義人が代表者と異なる場合は、代表者の印を押印のうえ提出してください。
(スタンプ印は不可)
- 金融機関、口座名義人等の欄には、**団体の預金通帳に記載されているとおり記入してください。**
- 会長（代表者）又は預金通帳記載事項に変更があった場合は、その都度口座振替依頼書を提出してください。
- 記載事項の訂正は二重線で見え消しし、会長（代表者）印で訂正印をお願いします

【事業スケジュール（予定）】

	R7年度 (2025年度)	R8年度 (2026年度)	R9年度 (2027年度)	R10年度 (2028年度)	R11年度 (2029年度)	R12年度 (2030年度)	R13年度 (2031年度)	～R32年度 (2050年度)
PFI事業 手続き	<p>▼実施方針(事業概要等)、要求水準書（整備内容等）等の公表(12月12日)</p> <p>▼債務負担設定(予算議案)(2月)</p> <p>▼入札公告(7月)</p> <p>▼事業者提案〆切(12月)</p> <p>▼落札者決定(2月)</p> <p>▼事業契約(6月)</p> <p>設計・工事</p>							
施設の 運営状況	<p>現行_指定管理者 (R4～R8)</p>		<p>次期_指定 管理者(R9)</p>	<p>引継</p>	<p>PFI事業者による部分営業 (一時全館休館あり)</p>			<p>▼完全 リニューアルオープン</p>
						<p>事業終了▼</p>		

実施方針等（抜粋）

③ 斜行モノレール

ア 斜行モノレール設置

横浜市営地下鉄グリーンライン北山田駅から横浜国際プールまでの経路に、車いす使用者やベビーカー利用者をはじめとする施設利用者へのバリアフリー経路を確保するための斜行モノレールを設置すること。斜行モノレールは、保存緑地に影響がないよう設置すること。

イ 設置概要

- a 車両は 16 名程度を定員とし、車いすやベビーカーにも対応したものとする。
- b 車両内はエアコン完備であること。
- c 利用者による運転操作は簡易であること。
- d 乗降場は、屋根、乗降ゲートを設置し、乗降口はバリアフリー対応とすること。
- e レール内に人が立ち入らないような安全対策（柵やホームドア等の設置）や、緊急時の対策を講じること。
- f 階段上と階段下の 2 箇所に乗降場を設置すること。
- g 設置箇所の参考図は添付資料 別紙 15 に示す。
- h 中央監視室等により、運転監視、連絡が可能とすること。
- i 非常ボタンは、中央監視室等に接続させること。
- j 監視カメラを設置し、中央監視室で確認できるようにすること。